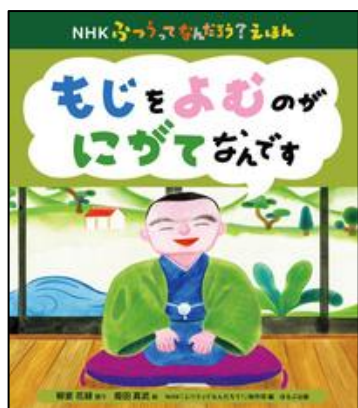


# NHK ふつうってなんだろう？えほんシリーズ 36

NHK「ふつうってなんだろう？」制作班／編 ほん／編 ほるぷ 出版



世の中には、自分ではどうすることもできない「こまりごと」のある人がいます。文字を読むことが苦手だったり、ちょっとしたことでおこったりするのです。

この人たちがどんなことにまっまっているのか、もしまわりにいたらどうすればいいのか考えるヒントになる本です。

シリーズに『もじをよむのがにがてなんです』『ひかり、あじ、おとがイタインです』『ぼくのなかにはおこりんぼうがいます』『みんなのこえがきえてしまうんです』があります。

## ☆おはなし会にきてね☆

◇中央図書館 (Tel: 042-564-2454)

7/24(土)・8/14(土)・8/28(土) 午後3時30分～

◇桜が丘図書館 (Tel: 042-567-2231)

7/21(水)・8/4(水)・8/18(水) 午後3時30分～

◇清原図書館 (Tel: 042-564-2944)

7/28(水)・8/11(水)・8/25(水) 午後3時30分～

※じょうきょうによっては、へんこうや中止の場合があります。

◎せんそうと平和の本のコーナーもぜひ見てください。

◎図書館のホームページ <https://www.lib.higashiyamato.tokyo.jp>



## クローバーと魔法動物 1～3 93シ

ケイリー・ジョージ／作 久保陽子／訳 スカイエマ／絵 童心社

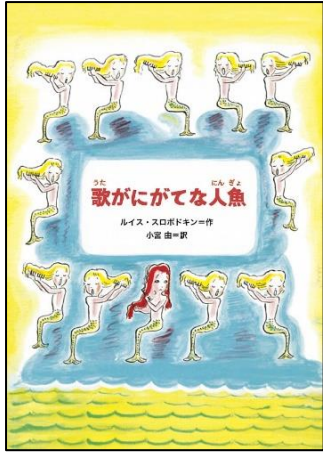


自分は運が悪いと思っているクローバー。ある日にげた鳥をおいかけて森の中へ入っていくと、動物しょうかい所を見つけます。ここは魔法動物を里親に引きあわせるところ。クローバーはここでお手伝いをするようになります。

でも急にひとり仕事をするようになったり、悪いまほうつかいがやってきたり、やっぱりクローバーは運が悪い？

## 歌がにがてな人魚 Yス

ルイス・スロボドキン／作 こみやゆう 小宮由／訳 すいうんしゃ 瑞雲舎



遠い南の海の底にあつた人魚の国。そこにはりっぱな大人の人魚になるための学校がありました。おどりや歌のべんきょうをするのです。この学校にかようシンシアは、うたが大の苦手。とても声が低かったので、みんなといっしょにうたうことができませんでした。

でも、このシンシアの声がとても役に立つじけんがおきたのです！

## セミクジラのぬけがら (ミッチの道ばたコレクション)

きさらぎ 如月かずさ／作 こまつしんや コマツシンヤ／絵 かいせい 偕成社 Gキ



ミッチの持っているたからばこ。道ばたでひろった石やびんのふた、そのほかいろいろなものが入ってるんだ。

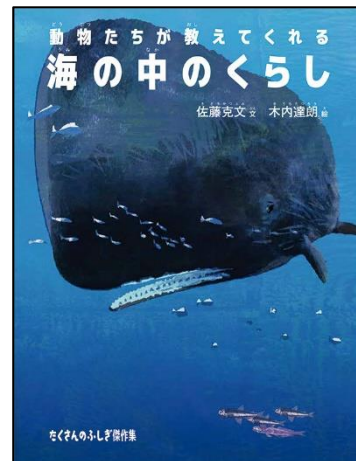
ある日ミッチがひろったのはクジラみたいな形の木のかげら。このかけらに水がかかったら、ほんもののクジラになっちゃった?!

シリーズに『ドラねこまじんのボタン』があります。

## どうぶつ 動物たちが教えてくれる海の中のくらし 45

さとうかつふみ 佐藤克文／文 きうちたつろう 木内達朗／絵 ふくいんかんしよてん 福音館書店

アザラシやペンギンなど海の中にいる動物たちは、どんなくらしをしているでしょう？それを知るために、なんきょくの海にすむ動物たちに小がたのカメラやきろくけいをつけてみました。すると海の中でどのように泳いでいるのか、どれくらい深くもぐれるのかなど、知らなかったことがたくさんわかりました。



## やとのいえ GE

やつおけいじ 八尾慶次／作 かいせい 偕成社

なだらかなおかにはさまれた、あさい谷のことを「やと」といいます。このまわりには村があり、人びとがくらししていました。

この本では、とうきょうの多摩きゅうりょうをモデルにして、150年前からげんざいまでのうつりかわりを見ていきます。

